



## 製品安全データシート

会社名: コダック株式会社  
担当部門: コンシューマー&プロフェッショナルイメージング事業部  
所在地: 東京都中央区新川2 - 27 - 1 (〒104-0033)  
電話番号: 03(5540)9000 FAX: 03(5540)2303

緊急連絡先: (財)日本中毒情報センター【中毒 110 番】  
(事故に伴い急性中毒の恐れのある場合に限る)  
9時から17時まで: 0990(52)9899 (ダイヤル Q2 有料)  
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 0298(51)9999  
これ以外の時間帯: 0990(50)2499 (ダイヤル Q2 有料)  
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 06(6878)1232

MSDS No. 000002853/F/USA/JP

承認日: 2003年10月21日

作成日: 2003年11月26日

### 1 製品名

コダック フレキシカラー SM 定着タンク液

CAT No.846268-1

### 2 危険・有害性の分類

該当成分 : チオシアン酸アンモニウム(1762-95-4)、亜硫酸ナトリウム(7757-83-7)、  
亜硫酸アンモニウム(10196-04-0)を含む。

#### 警告!

甲状腺に損傷を与える。

誤飲や皮膚からの吸収は有害。

皮膚と眼に炎症を起こす。

強酸化剤や酸と反応すると有害で可燃性のガスを発生する。

### 3 物質の特定

成分	重量%	CAS No.	PRTR政令番号
水	75-80	7732-18-5	
チオ硫酸アンモニウム	10	7783-18-8	
チオシアン酸アンモニウム	8	1762-95-4	
亜硫酸ナトリウム	1-5	7757-83-7	
亜硫酸アンモニウム	<1	10196-04-0	

## 4 応急措置

- 吸入した場合 : 症状が出たら、空気の新鮮な場所に移動する。症状に応じて対処する。医療手当を受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに、多量の水で 15 分以上洗眼する。症状が出たら、医療手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに、汚染した衣服、靴を脱ぎながら、多量の水で 15 分以上洗い流す。汚染した衣服は洗ってから使用する。汚染した靴は廃棄するか、十分に洗う。
- 誤飲した場合 : 医師の指示に従い吐き出す。被災者が意識喪失の場合には、何も口から与えてはならない。  
直ちに、医師を呼ぶか、中毒 110 番に問い合わせる。

**警告！**

強酸化剤や酸に触れるとシアン化水素ガスが発生することがある。

シアン化水素ガスが発生したら救急車・救急救命隊または医者に患者がシアン化水素ガスに触れた可能性があると知らせる必要がある。

## 5 火災時の措置

- 消火手段 : 周辺の火災に対し、適切な消火剤を使用する。
- 火災時の特別対応手段 : 保護衣と呼吸用保護具を着用する。火災や過度の熱により有害な分解物質を生じることがある。
- 有害燃焼物質 : なし(不燃性) (「危険分解物質」の項も参照)
- 異常火災/爆発の危険性 : なし

## 6 漏出時の措置

多量の水とともに流す。他の方法として、不活性物質に吸収させ化学物質廃棄用の容器に回収する。漏洩箇所を十分に拭き取る。

## 7 取扱い・保管上の注意

- 取扱い : 霧や蒸気を吸い込まない。誤って強酸化剤や酸と混合してしまった場合は、ガスを吸い込んではいならない。眼、皮膚、衣服に付着させない。適度な換気を行う。取扱い後は十分に手などを洗う。その他、毒劇法の定めるところに従う。
- 清掃の予防措置 : 循環系やタンクの中の液を完全に抜き、水で十分洗ってから洗剤を入れる。藻の発生の抑制やタンクの清掃のため洗剤の濃縮液(例えば漂白剤に含まれる塩素)をいきなり加えると有害なガスが発生することがある。
- 火災や爆発の防止 : 酸化剤から離す。
- 保管 : 密栓して保管する。不適合物質から離す(不適合物質の項を参照)。その他、毒劇法の定めるところに従う。

## 8 | 暴露防止措置

許容濃度	: なし
換気	: 換気の良い場所で取り扱う(例えば 10 air changes/時間)。換気速度は使用状態に合わせる。特別な条件では、補助的な集中排気、システムの密閉、呼吸器官の保護が必要になることがある。
呼吸器系の保護	: 特に必要なし。有害な分解生成物が発生する恐れがある場合または既に発生している場合には、フルフェース型送気マスクを着用しなければならない。「危険性情報(安全性・反応性)」の項を参照してください。保護呼吸器を使用する場合は、OSHA 規格の 29CFR1910.134 と 29CFR1910.1048 に適合する措置を講じること。
眼の保護	: 側板付き安全メガネまたはゴーグル保護メガネの着用。
皮膚の保護	: 不浸透性の手袋、保護衣を着用する。
浄化する設備	: 洗眼、身体洗浄の設備(安全シャワー)

## 9 | 物理・科学的性質

外 観	液 体
色	淡黄色
臭 気	微酢酸臭
比重(水 = 1)	1.090
蒸気圧(20 )	24 hPa (18 mmHg)
蒸気密度(空気 = 1)	0.6
揮発留分(重量)	75 ~ 80%
沸 点	> 100
水溶性	完 全
pH	6.5
引火点	なし (不燃性液体)

## 10 | 危険性情報(安定性・反応性)

安定性	: 安定
不適合物質	: 強酸化剤(次亜塩素酸ナトリウム(漂白剤))、強酸(硫酸)、塩基、強酸化剤や強酸と接触すると有害なガスを発生する。強酸化剤や強酸と接触すると燃焼物質を発生する。塩基と接触すると燃焼性物質を発生する。
危険分解物質	: アンモニア、クロラミン、シアン化物、カルボニル硫化物、窒素酸化物(NOx)、亜硫酸
危険重合物質	: 発生しない。

## 11 有害性情報

## 暴露の影響:

- 一般 : チオシアン酸アンモニウムを含む。チオシアン化合物に過剰に触れると、甲状腺肥大、新陳代謝の低下、ヒトや動物の甲状腺機能低下の兆候を示す。
- 吸入 : 通常取扱いでは、危険性少ないと予測される。強酸化剤や酸に触れてシアン化水素ガスが発生したら、めまい、頭痛、速い呼吸、速い脈、意識喪失、麻痺などの症状を引き起こし、極度の場合には、生命に危険をもたらすこともある。強酸に接触したり、加熱すると亜硫酸ガスを発生する恐れがある。亜硫酸ガスは呼吸器官に炎症を起こす。一部の喘息または過敏症の人は呼吸困難に陥ることがある。
- 眼 : 炎症を起こす。
- 皮膚 : 炎症を起こす。皮膚からの吸収は有害。過敏症の人はアレルギー反応を起こす。
- 誤飲 : 誤飲すると有害。胃腸系に炎症を起こすことがある。喘息の持病のある人や亜硫酸に敏感な人はげいげいしたり、胸が締め付けられたり、胃の不調、じん麻疹、失神や下痢を起こすことがある。

## 12 環境影響情報

この項は、輸送中の不慮の事故などにより発生した漏出時の対応について述べるもので、下水道などに排出するための情報ではありません。

本製品の主要成分のデータに基づいて本製品の環境への影響を評価しますが、実際には試してはいません。

水質系に流出した場合、BODは中庸で、酸素を破壊する可能性がある。水中生物への影響は小さい。二次廃棄物処理微生物代謝に影響を及ぼす可能性は中庸。一部の植物の発芽や初期の成長に影響を及ぼす可能性は低い。生物分解処理はされにくい。多量の水で希釈したうえ二次廃棄物処理を行えば、自然環境に放たれても問題はないであろうと思われる。

## 13 廃棄上の注意

本製品を未使用で廃棄する場合は、特別管理産業廃棄物に該当する。特別管理産業廃棄物処分業の免許を持った業者へ特別管理産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて依頼する。

## 廃棄時に適用される法規

- 廃棄物処理法 : 産業廃棄物(廃酸)
- 水質汚濁防止法 : 生活環境項目
- 下水道法 : 下水の排除の制限

## 14 輸送上の注意

Air Transportation. Not Regulated. 規制なし

- Class : -----
- UN-No. : -----
- Proper Shipping Name : -----
- Subsidiary risk : -----
- Packing group : -----
- Passenger Aircraft : -----
- Cargo Aircraft Only : -----

---

**15 適用法規**

---

該当なし。

化学物質管理促進法 (PRTR 法)	: -----
毒物劇物取締法 (毒劇法)	: -----
労働安全衛生法 (安衛法)	: -----
消防法危険物分類 (消防法)	: -----

---

**16 その他**

---

危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではないので、上記の内容は補足の情報と見なし、取扱いには十分注意してください。